

# 京都新聞

号外



## 滋賀レイクス優勝とB1復帰へ 新シーズン開幕!

**GET BACK!**  
B1復帰へ

8シーズン目の男子プロバスケットボール「B・LEAGUE」が10月に全国で開催する。今季は日本も開催国となったFIBAワールドカップでの日本代表の活躍もあり、バスケット熱が高まっている。特別なシーズンとなりそう。

滋賀レイクスは、今シーズン初めてB2リーグを戦う。「勝率8割」「プレーオフ優勝」という挑戦目標、そして絶対目標である「1シーズンでのB1復帰」を掲げ、このシーズンを戦う。

昨年、B2降格という悔しさを味わったキャプテンの柏倉哲平、エースのキーファー・ラベナ、そして日本代表としてプレーした川真田也ら主力が残留し、そこへ元オーストラリア代表のプロック・モータムや、日本でリーグ MVP (bjリーグ) にも輝いたことがあるジャスティン・パーレルといった強力な新メンバーを揃えることに成功した。

緊急登板し、B1残留まであと一歩のところまでチームを立て直したダビッド・ゴメスヘッドコーチ (HC) にとっては、今季こそが自身のバスケットをシーズンから作り上げるシーズンとなる。昨季途中に日本では異例の高卒ルーキーとして大きな話題を集めた湧川颯斗も、このオフにU19ワールドカップで日の丸を背負った経験を経て今季の大ブレイクを虎視眈々と狙っている。

**新たな頂点**  
「Bプレミア」参入へ  
勝負の1年

そして、来たる新シーズンはB1復帰とともにさらに大きな挑戦が待ち構えている。それはB・LEAGUEが2026年からスタートさせようとしている新たなトップリーグ「B・PREMIER」(Bプレミア) への参入である。この審査対象となるシーズンの開幕から

クラブとして大きな二つの挑戦がカギとなるのが「満員のホームアリーナ」を作り上げること。大声援は選手の背中を押し、平均入場者数がクラブ最多を更新する「3,000人以上」という数字を超えてくれば、Bプレミアへの参入が現実的に視界に入ってくる。

「滋賀一丸」というスローガンを掲げ、観客動員のクラブ記録を2日連続で更新し、4連勝を飾るなど快進撃を見せた昨季終盤のホーム「滋賀ダイハツアリーナ」での光景を再現できれば、この二つの大きな目標は決して達成不可能なものではないだろう。ホームアリーナを常に「フルハウス(満員)」にし、もう一度、トップリーグの舞台で輝くレイクスを取り戻す。掲げた今季のスローガンは「GET BACK!」。

あるべき場所へ振り返るとともに、その先の未来へ羽ばたくための1年となる非常に重要なシーズンの幕が開ける。

この歴史に刻まれるシーズンを、ぜひ、一緒に最後まで戦い抜きたい。喜びを分かち合いたい。

### CONTENTS

- 2023-24シーズンのレイクス選手を徹底紹介!
- 戦国B2は開幕から熱戦! リーグ戦試合スケジュール
- 【PICK UP】 今シーズンのレイクスはここに注目!



滋賀レイクスの最新情報は公式WEBサイト、SNSで配信中



www.lakestars.net



# SHIGA LAKES 2023-24 SEASON PLAYERS

2023-24シーズンはキャプテン柏倉哲平選手、在籍最長となる野本大智選手、レイクスでの2年間の急成長で日本代表に上り詰めた川真田紘也選手ら昨季の悔しさ味わったメンバーの土台に、B1で実績のあるジャスティン・バーレル選手ら経験豊富な選手が加わり、B2優勝を目指す磐石な布陣が揃った！



**ライオン・クリーナー PF**  
1998年4月24日生まれ  
身長208cm 体重118kg アメリカ合衆国出身  
技、力、速さを兼ね備えたオールラウンダー。昨季はB2愛媛で全60試合に先発出場し、得点・リバウンド・ブロックの3部門のトップ10入り。野本や川真田と同じ1998年生まれという伸び代も昇格の切り札となる。



**宮本一樹 SF/PF**  
1999年6月17日生まれ  
身長196cm 体重96kg 神奈川県出身  
中・高と世代別日本代表として活躍した機動力のあるビッグマン。FE名古屋でB1昇格に貢献し、昨季はB1でルーキーイヤーを過ごした。今季は運動能力とシュート力を活かし、オールラウンダーとしてブレイクを目指す。



**山崎凜 SG**  
2001年3月24日生まれ  
身長194cm 体重90kg 愛知県出身  
潜在能力十分なビッグシューター。今季がルーキーイヤーとなるが、すでに2シーズン長崎でプレーしており物怖じしないメンタルを持つ。愛称はリンリン。一際通る大きな声で、コート内外からチームを盛り上げる。



**ブロック・モータム PF**  
1990年10月16日生まれ  
身長208cm 体重111kg オーストラリア出身  
チーム最長身でありながら、軽やかなプレーで得点を重ねる。昨季B1で4位の3P成功率、9位の得点をマークした。豪州代表としてリオデジャネイロ五輪に出場。"良きパパ、としての一面もファンに愛されている。



**柏倉哲平 PG**  
1995年1月20日生まれ  
身長180cm 体重82kg 山形県出身  
滋賀が誇る"The Captain"。バスケット人生の中で各カテゴリーでキャプテンを経験。どんな状況でもポジティブな姿勢と声掛けを崩さず、精神的にチームを支える。キーファー・ラベナとの絆はチームの生命線。



**キーファー・ラベナ PG/SG**  
1993年10月27日生まれ  
身長183cm 体重82kg フィリピン出身  
滋賀を虜にするフィリピンの英雄。2019年、2023年はフィリピン代表としてW杯を戦った。琵琶湖を輝かせる太陽のような笑顔で、チームメートからもブースターからも愛される「The Phenom (天才)」。



**野本大智 PG**  
1998年6月25日生まれ  
身長183cm 体重80kg 群馬県出身  
笑顔が爽やかな生え抜きのプリンス。コートに立てば常に闘志全開のプレーで相手に立ち向かい、そのギャップに多くのブースターが心を奪われる。入団4季目、今季は在籍最長プレーヤーとしてもB1昇格の原動力になる。



**田原隆徳 PG**  
1994年4月25日生まれ  
身長181cm 体重85kg 北海道出身  
雪国生まれの熱い男。北海道、宇都宮、大阪とB1クラブを渡り歩き、B2群馬ではB1昇格に貢献した。ニックネームは「TEE」。燃えるような気迫を前面に出したハッスルプレーでB1昇格を目指すチームを鼓舞する。



**ジャスティン・バーレル PF/C**  
1988年4月18日生まれ  
身長204cm 体重115kg アメリカ合衆国出身  
日本10シーズン目を迎える昇格請負人。リングを破壊しそうなほど豪快なダンクシュートが代名詞でもあり、30代半ばとなった今もそれは変わらない。仙台では主将としてB1昇格を果たすなど精神的にもチームを支える。



**眞庭城聖 SF**  
1986年5月27日生まれ  
身長193cm 体重92kg 福岡県出身  
37歳のベテランがB1復帰という挑戦に臨む。3人制日本代表など独自のキャリアを歩み、主将も務めた茨城では5シーズンでB1昇格を勝ち取るチームに育てた。レイクスでもチームを結束させる役割を担う。



**湧川颯斗 PG**  
2004年5月2日生まれ  
身長194cm 体重84kg 広島県出身  
次世代の日本代表を目指すビッグガード。福岡大大濠高校2年で全国制覇を経験し、高卒プロ入りという日本では稀なキャリアを選択。課題のフィジカルもパワーアップし、ルーキーシーズンは主力として大暴れが期待される。



**森山修斗 SF**  
1996年4月13日生まれ  
身長195cm 体重93kg 滋賀県出身  
淡々と3Pを決める滋賀が生んだビッグシューター。草津市出身で少年時代に父親とレイクスのホームゲームの応援に駆けつけていたのが原体験。「レイクスをB1に戻す」という決意を持って臨むシーズンで飛躍を目指す。



**川真田紘也 C**  
1998年6月16日生まれ  
身長204cm 体重110kg 徳島県出身  
滋賀から世界の"マイキー"へ。日本代表では練習生という立場から急成長を遂げW杯出場を勝ち取ったビッグマン。派手なダンクシュートや「盛り上げてナンボ」のパフォーマンスで、W杯を経て全国のファンの心をつかんだ。



**ダビー・ゴメス HC**  
1989年3月4日生まれ  
スペイン出身  
スペイン流の情熱的な指導でチームを指揮する若きコーチ。選手時代には世代別スペイン代表の経験もあるが、若くして指導者の道へ。ジャーナリストとして働いた経験もあるユニークなキャリアの持ち主。



**マグニー マスコット**  
8月8日、バスケットの熱気につられて琵琶湖から飛び出したピッコオナマズ。琵琶湖とみんなを明るく健康にするエンターテイナーだが、困っている人を放っておけない頼りになる一面も。

LIVE Bリーグ全試合をLIVE配信  
**バスケットLIVE**

 **YouTube**   
滋賀レイクスのオリジナル動画は公式Youtubeチャンネルで！

	開催日	TIP OFF	対戦相手
AWAY	10月 7日(土)	13:05	熊本ヴォルターズ
	10月 8日(日)	14:00	
HOME	10月14日(土)	14:00	ライジングゼファー福岡
	10月15日(日)	14:00	
AWAY	10月21日(土)	17:00	バンビシャス奈良
	10月22日(日)	14:00	
HOME	10月25日(水)	19:00	岩手ビッグブルズ
HOME	10月28日(土)	14:00	アルティーマ千葉
	10月29日(日)	14:00	
AWAY	11月 4日(土)	16:00	神戸ストークス
	11月 5日(日)	14:00	
HOME	11月11日(土)	14:00	新潟アルビレックスBB
	11月12日(日)	14:00	
AWAY	11月18日(土)	15:00	青森ワッツ
	11月19日(日)	15:00	
AWAY	11月25日(土)	17:00	愛媛オレンジバイキングス
	11月26日(日)	14:00	
HOME	12月 2日(土)	17:00	山形ワイヴァンズ
	12月 3日(日)	14:00	
HOME	12月 9日(土)	14:00	バンビシャス奈良
	12月10日(日)	14:00	
AWAY	12月15日(金)	19:00	神戸ストークス
	12月16日(土)	14:00	
AWAY	12月20日(水)	19:00	岩手ビッグブルズ
	12月23日(土)	14:00	
HOME	12月24日(日)	14:00	熊本ヴォルターズ
	12月29日(金)	14:00	
HOME	12月30日(土)	14:00	ベルテックス静岡

# HOME GAME

## 戦国B2開幕から熱戦

### ホーム開幕は福岡、A千葉戦は序盤の山

滋賀レイクスは今季初めてB2リーグの舞台で戦う。目標は当然「1シーズンでのB1復帰」だが、年々レベルが上がっているB2リーグを勝ち抜くことは簡単ではない。リーグ戦を最上位で終えればホームの大声援の後押しを受けてプレーオフを戦えるという大きなアドバンテージを得ることができる。

**越谷には日本代表**  
昇格を争う上で最大のライバルとなりそうなのが越谷アルファーズだ。滋賀レイクスの川真田紘也と同じく日本代表に選ばれている井上宗一郎を擁し、今季はヘッドコーチにB1リーグでチャンピオンシップ優勝経験を持つ安齋竜三HCが就任。3人の外国籍選手はいずれもB1で実績を持ち、脇を固めるベテランにも菊地祥平、喜多川修平という優勝経験者を揃えるなど安定感にはB2随一と言える。

越谷と並んでB1へ強い野心を見せているのがアルティーマ千葉。クラブ活動開始からまだ3年目でありながら、昨シーズンはB1最速昇格まであと一歩のところまで迫った。オーストラリア代表HCも務めたアンドレ・レマニエは、こちらもB1経験のある岡田優介らベテランを揃え、さらに今季はかつてレイクスにも所属し、

これからの日本代表入りにも期待がかかる前田怜緒や、Bリーグ屈指の日本人ダンカークとしても名高い熊谷尚也が新加入。昨季逃したB1を今季こそ掴むためにしっかりと補強を行った。

西地区も侮れないチームが揃う。神戸ストークスは、主力日本人選手が長年同じメンバーで戦い続けている。継続性が武器で昨季もプレーオフで準決勝まで勝ち残った。レイクスの開幕の相手である熊本ヴォルターズも、毎年のように昇格争いに加わる底力のあるチーム。

年々「戦国B2」の様相を呈していく昇格レースは、アウェー熊本戦で幕を開け、ホーム開幕戦は10月14日と15日でライジングゼファー福岡と戦う！

**レイクスチケット**  
観戦チケット購入はこちら  
全席指定！スマホで簡単購入



# ARENA

## 2022年冬にオープンした滋賀レイクス新たなホーム 滋賀ダイハツアリーナ

### アクセス

滋賀県大津市上田上中野町779番地

### 【公共交通機関】

JR琵琶湖線「瀬田駅」(京都駅から5駅)から直行バスで15分  
※ホームゲーム開催日はバス増発

### 【駐車場】

アリーナ周辺に大規模駐車場を4カ所完備、パーク&ライドも実施  
●新名神高速「草津田上IC」から約5分、  
●名神高速「瀬田東IC」から約10分



平和堂 PRESENTS

滋賀県内の小・中学生の皆さんへ

2023-24 SEASON SHIGA LAKES HOME GAME

# レイクスPASS

## ドリームPASS

全試合観戦無料

同伴割引あり  
席は2階指定席

# LAKES GOODS

滋賀レイクスグッズは試合会場、公式オンラインストアでGET!!!

34 HAYATO WAKUGAWA

# PICK UP

## 今シーズンの滋賀レイクスの見どころ！

- 世界を経験した日本代表の川真田紘也とフィリピン代表のキーファー・ラベナがチームを牽引！
- 話題の高卒ルーキー、19歳の湧川颯斗が初のプロ本格参戦でブレイクを目指す
- B2でNo.1の平均身長を誇るビッグラインナップ！
- 新加入選手7人のうち5人が「昇格経験者」、B1得点4位のブロック・モータムに注目！



### 世界基準で昇格導く 日本代表・川真田、フィリピン代表・ラベナ

「1シーズンでのB1復帰」を絶対目標に掲げる滋賀レイクス。年々急激にレベルが上がっているB2リーグを勝ち抜くことは、容易いことではないが、その説得力を高めるのが2人の「代表選手」の存在だ。日本代表の川真田紘也とフィリピン代表のキーファー・ラベナ。ともに在籍3年目を迎え、昨季の降格の悔しさを味わった2人がレイクスで昇格のために戦い続けることを選択した。

川真田は佐賀バルーンズで特別指定選手を経験した後、大卒のルーキーシーズンから滋賀で過ごす。当初はなかなかブレイクタイムを得られなかったが、2年目の昨季に主力外国籍選手の怪我によりインサイドを任せられたのを機に急成長。もとも潜在能力を評価されて「育成枠」で日本代表にも呼ばれていたが、リーグ戦での活躍とともに代表の戦力としても評価を高め、ワールドカップ（W杯）のメンバー入り（W杯）のメンバー入りも勝ち取るまでに至った。一方、母国で「フィリピンの英雄」の異名をとるラベナは、レイクス加入以来、エースポイントガードとして文句のつけようのない活躍を見せてきた。1年目の2021-22シーズンにはB1リーグ3位のアシストとスティールを記録。昨シーズンは怪我の影響で離脱した時期もあったが、後半では2試合連続で勝利を決定づける3Pシュートを決めるなど、勝負強さを見せつけた。直近のW杯でも2大会連続での出場を果たした。

B2リーグの優勝・昇格争いは、長いリーグ戦を戦い抜いた後、上位チームによるプレーオフで決定する。最終的には「負けたら終わる」の短期決戦で勝負を決する状況では、国を背負って戦った経験を持つ川真田とラベナの存在が大きくなる。特に川真田はNBA選手たちを相手にプレーした経験が、今季のさらなる飛躍に繋がるはずだ。

## 高卒ルーキー、2年目のブレイクへ

チーム最年少の19歳、湧川颯斗

次世代の日本代表を目指す注目の高卒ルーキーが、初めてフルシーズンを戦う1年で大ブレイクを目指す。今年1月、まだ福岡大濠高校3年のうちに特別指定選手として滋賀レイクスへ加入し、同時に卒業後のプロ入りを発表した湧川颯斗。前年のウインターカップでチームを優勝に導いた。高校バスケット界のスターが、大学ではなくBリーグを進路に選ぶことは稀であったため、そのキャリア選択は大いに話題となった。

チーム合流まもないデビュー戦で7得点を挙げるなど才能の一端を示したものの、準備期間もないまま飛び込んだプロの世界ではベテランを外れる機会もあるなど苦戦。それでも4月に主力の怪我というピンチにチャンスを与えられると、リーチの長い両手と高い身体能力を活かした粘り強いディフェンスで相手

のエース級選手のマークを任せられるなど、早くもプロレベルでも通用することを証明してみせた。

世界を見据えてポイントガードに挑戦する身長194cmの逸材このオフシーズンには同世代の世界のトップ選手たちが集う「U19ワールドカップ」にも日本代表として出場し、日本史上最高のベスト8入りに貢献。その一方で、「個」の力での世界との差を痛感したといい、今季のBリーグでは試合経験を積むことでレベルアップを意気込む。

チームは今季、平均身長でB1を含めてもトップレベルの布陣を組む。その中でPG湧川が確立すれば、高さでは抜きん出た夢のビッグラインナップが可能になる。W杯で健闘した日本代表の次の世代を担うであろう才能の成長に、開幕から注目だ！



## 滋賀レイクスを応援しよう!

レイクス 力強い戦い

2023年4月5日付 京都新聞朝刊17頁

紙で読むのが効果抜群

新聞は

京都新聞 滋賀版なら 滋賀レイクスの記事が満載

2023年8月28日付 京都新聞朝刊18頁

ご購読・試読のお申し込みは

0120-464-468 (平日午前9:00～午後5:00)

Webからお申し込み

京都新聞 購読 試読